



インフルエンザ流行中

出席停止期間

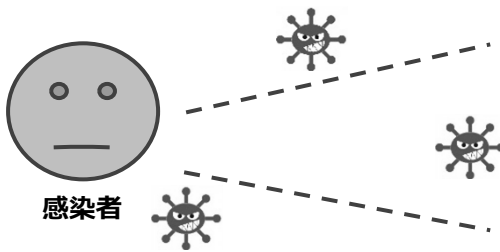
「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで」

*発症日は0日目と数えます。

*かかった場合は、上記の期間、自宅で安静にしましょう。

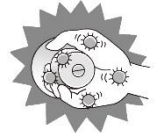
*登校後、「インフルエンザによる出席停止届」等を受け取り、提出してください。なお、服薬証明書等もらっていれば、添付書類が必要なため、保管しておいてください。

こうして広がる インフルエンザ



接触感染

感染者が触れたスイッチや扉などから手についたウイルスが口や鼻から侵入して感染



飛沫感染

感染者のせきやくしゃみでとんだ水滴とともにウイルスを吸い込んで感染



かからないために… 特に、
“換気・マスク・手洗い”で予防しよう!!

換気

12月に実施した教室の空気検査では、休み時間に換気した教室の二酸化炭素(CO₂)は0.14%に対し、ほとんど換気しなかった教室は0.5%でした。理想的な教室環境は0.15%以下とされています。空気中のCO₂が増えると、眠気やだるさなどが出てくるとともに、閉め切った状態であると、インフルエンザウイルスも蔓延してしまいます。

< 換気のおすすめ >

★休み時間ごとに、教室の左右の窓を開けましょう。

★常に教室の上の小窓を少し開けておくだけでも効果があります。

マスク

鼻だけ出してつける 上下裏表気にしない 一度使ったマスクを翌日も使う

上記のうち、一つでも当てはまった人は、マスクを着用していても効果がないかもしれません。マスクは、鼻と口をすき間なくおおって、上下裏表正しく付けることが大切です。また1度使ったマスクはウイルスが付いている可能性があるため、使いまわしすることなく、外したらすぐ捨てることをおすすめします。

手洗い

石けんを使って、丁寧に洗いましょう。アルコール消毒も有効です。

*学校では、アルコール消毒を北館および南館の玄関と各トイレに設置しています。